

瀬戸地域範囲確認調査

東海環状自動車道関連で5遺跡の、国道363号線改良関連で4遺跡の範囲確認調査を実施した。

東海環状自動車道関連

遺跡名	所在地	調査期間	面積	
御船城跡	豊田市御船町地内	1997.5.1～5.19	200㎡	総計で49箇所のトレンチを設定。県道豊田明智線以東の御船川周辺部では、数片の山茶碗が現耕作土中より出土したほか遺構・遺物包含層は認められなかった。県道以西の地籍図で推定される御船城跡の方形居館南側の3トレンチにおいて、遺構は検出されなかったものの、戦国時の遺物包含層を確認する。なおこの推定方形居館周辺部は、未買収地が多く遺跡の範囲を明確にするためにはなお調査の必要があると判断する。
巡間A遺跡	瀬戸市惣作町地内	1997.6.11～6.21	100㎡	総計で10箇所のトレンチを設定。小さな谷底平野に相当する低地部のトレンチでは湧水が激しく、調査は難航する。低地部のトレンチにおいて、惣作川上流ないし周辺の山地からの流入土と考えられる土層中より、若干の遺物（古代～近世・近代？窯道具を含む）が出土をみたが、遺構は認められなかった。周辺に遺跡の存在が予想されるものの、調査対象地に遺跡は及んでいないと判断する。
瓶子窯跡	瀬戸市鳳山町地内	1997.7.8～8.19	200㎡	事前に磁気探査を実施し、その所見をふまえ、総計で19箇所のトレンチを設定。厚さ2m以上の灰原、作業場とみられる平坦地を確認する。窯体については大型の連房式窯の焚口の一部が用地内にかかる。なお、磁気探査および地表面の観察から、少なくとも斜面上にもう1基の連房式窯（用地外）が存在することがうかがわれる。出土遺物からみてこれらは、17世紀初～末にかけての時期のものと推定される。
鳳山窯跡	瀬戸市鳳山町地内	1997.6.25～7.7	100㎡	事前に磁気探査を実施し、その所見をふまえつつ、4箇所の細長いトレンチを設定。調査対象地の北東側の谷奥において山茶碗の窯体および灰原が地上観察で確認でき、磁気探査の所見もこれを裏付ける。しかしながら用地内においては、各トレンチとも遺構・遺物は、認められず、磁気探査の所見と一致を見た。したがって調査対象地には鳳山窯は及んでいないものと判断する。
長谷口遺跡	瀬戸市長谷口町・八王子町地内	1997.6.11～6.25	100㎡	木下川右岸に7箇所、左岸の県道瀬戸設楽線・赤津川間に9箇所のトレンチを設定。右岸では、縄文時代および中・近世の遺構・遺物包含層を確認。左岸では、縄文時代早期（粕畑式）および中世の遺構・遺物包含層を確認した。調査所見などをふまえ今後は、左岸を「八王子遺跡」と呼称することとする。

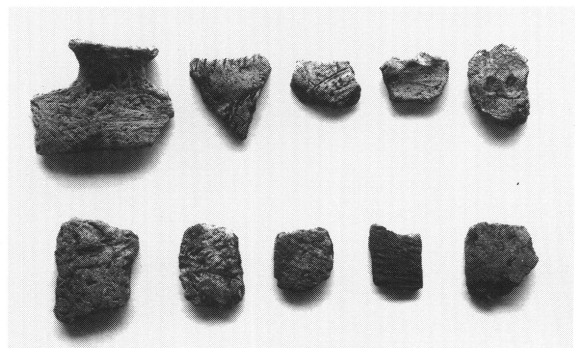
国道363号線改良関連

遺跡名	所在地	調査期間	面積	
上品野蟹川遺跡	瀬戸市上品野町地内	1997.4.14～4.21	100㎡	調査対象地を、便宜的に4地区にわけ、総計で17箇所のトレンチを設定。明確な遺構は認められなかったものの、古代～中・近世の遺物包含層を確認する。未買収地の関係で、一部範囲の確定が出来ない地区がある。
桑下城跡	瀬戸市上品野町地内		150㎡	調査中
桑下東窯跡	瀬戸市上品野町地内		100㎡	調査中
西金地遺跡	瀬戸市上品野町地内		100㎡	調査中

(北村和宏・小澤一弘・後藤英史)



瓶子窯出土品



長谷口（八王子）遺跡出土の縄文土器